



東中だより



No. 17 令和6年2月29日

伊丹市立東中学校長
多田 英稔

～ 令和5年度 学校評価について ～



12月に生徒、保護者の皆様にご協力頂きました、学校評価のアンケート結果をご報告します。今年度から、「令和5年度伊丹の教育〈基本方針と主要事業〉」の主要施策「学校教育」及び「教育環境の整備・充実」の施策目標を評価項目（共通項目）とする、という市の方針に基づいて、アンケート項目を大幅に変更して実施しました。

保護者アンケートでは、23項目の内、肯定評価が80%を超えるものが「お子さんは楽しく学校に行っている。」「自分を大切にすることや、他の人への思いやりについて教えている。」「保護者や地域の願いに応えている」「体力向上に力を入れている」など、13項目ありましたが、昨年度よりは2項目減少しました。その中で、「学習の成果や取り組みを適切に評価している」「学校行事（体育大会・校外学習・トライやるなど）に参加できるよう指導している」「体育の授業や部活動を通して、体力向上に力を入れている」「保健だよりなどで健康管理についての情報を保護者に伝えている」「サタスタ東や図書活動などの取り組みを通して、地域や保護者との連携のもと、積極的な教育活動を行っている」「清掃活動や環境美化に力を入れている」の6項目では90%以上の肯定評価となりました。

しかし、「お子さんは授業がわかりやすいと言っている」「ボランティア活動を生徒に勧めている」の項目については昨年度よりも肯定評価が上昇したものの60%台の評価となりました。

今年度新たに追加した「お子さんは、授業内容について先生に質問しやすいと言っている」という項目では、肯定評価が49%に対し、同じ質問内容では生徒評価は60%台となり、多少結果に開きが見られました。

また、生徒アンケートでは、20項目の内、肯定評価が80%を超えるものは「授業はわかりやすく楽しい」「先生は家庭学習定着のために宿題を出している」「先生は悩みや不安に対して相談に乗ってくれる」など13項目あり、昨年と同等でした。その中で、「学習の成果を適切に評価してくれる」「先生は教え方にいろいろ工夫している」「学校行事（体育大会・校外学習・トライやるなど）に取り組めるよう教えてくれている」「体育の授業や部活動を通して体力が向上するよう教えてくれている」「防災訓練など、自分を守る方法を教えてくれている」の項目で90%以上の肯定評価でした。

しかし、「授業内容でわかりにくいことについて、先生に質問しやすい」「ボランティア活動を勧めている」「規則正しい生活をするよう呼びかけている」などの7項目は昨年より5ポイント前後下がり肯定評価が80%を下回りました。

新しく設定した「体育の授業や部活動を通して、体力が向上するよう教えてくれている」という項目では91%の高評価を得たものの、「食事や給食の時のマナーが身につくよう教えてくれている」「移動図書や図書館利用など読書に力を入れている」の項目では、70%台の評価となりました。

保護者、生徒アンケートともに昨年度とは評価項目や質問内容に変更もあり、同じ基準で比較することはできませんが、この結果を踏まえ、次年度に向け、さらに本校の教育課題に対する方策を立て、取り組みを推進してまいります。

今後とも、本校教育活動にご理解、ご協力をいただきますようお願いいたします。

